特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 2022 年度 第 6 回理事会 議 事 録

日 時:2023年7月23日(日)16:00~18:00

場 所:リモート開催

出 席 者:椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、大日方邦子、若林稔、辻村和見、

荒井秀樹、桜本利幸、東海林志朗、夏目堅司、岡本圭司、

鹿島(吉龍)忍、田原麗衣、井上真司、井口深雪、(16名)

委任出席者:山口聖子、上東悦子(2名)

欠席者:中村勝彦(1 名) 出席監事:宮田隆司(1 名) 欠席監事:大内智(1 名)

オブザーバー:石井沙織、渡辺孝次、綿谷直樹(3名)

椎名会長より定足数の確認がなされ、19 名中出席 18 名(委任状出席を含め)であり、定足数 を満たし本会は成立するとの発言がなされた。

議事録署名人には、古市副会長、鈴木理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始 された。

【審議事項】

(1) 2023 年度の各本部・各委員会の事業計画・事業予算について

鈴木:総務・財務委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

鈴木:法務倫理委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

鹿島:ダイバーシティ委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

石丸:山口理事の代わりに医科学情報委員会の事業計画と事業予算について説明を行った。

石丸:上東理事の代わりにアンチ・ドーピング委員会の事業計画と事業予算について説明 を行った。

若林:マーケティング本部、広報委員会、マーケティング委員会に別けて説明します。

マーケティング本部の事業計画と事業予算について説明が行われた。

広報委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

マーケティング委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

大日方:強化本部の事業計画と事業予算について説明が行われた。

保科:競技大会委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

石丸:選手委員会と用具技術開発委員会からは、新年度の事業計画・事業予算の提出はありませんでした。

石丸:事務局の支出内容について説明を行った。

辻村:普及委員会と VI-WG に別けて計画を作成して予算化しました。

普及委員会の事業計画と事業予算について説明が行われた。

VI-WG の事業計画と事業予算について説明が行われた。

石井: アルペン委員会のパラアルペンチームの事業計画と事業予算について説明が行われた。引き続き ID アルペンチームの事業計画と事業予算について説明が行われた。

渡辺: ノルディック委員会のパラノルディックチームと ID ノルディックチームの事業計画・事業予算について説明が行われた。

綿谷:パラスノーボードチームの事業計画・事業予算について説明が行われた。

鈴木:マーケティング本部の SNS 予算について若林理事に常任理事会後見直しをお願いしました。検討をお願いします。

議長:2023 年度の事業計画・事業予算ついて承認を求めたところ全員一致で承認された。

(2) 2023 年度の連盟予算について

石丸: 今、審議した各本部と委員会の事業計画・事業予算を連盟の予算書としてまとめま した。

鈴木:収支がマイナス 1200 万円になる見込みなので、これから各委員長に予算の見直しのお願いをさせていただきます。

助成金の変更もありますので、理事会、定期総会までに見直しを行います。

大日方:新年度の事業が開始されるが、事業計画・事業予算が承認されたものとして活動 していいですか。

鈴木:優先順位を決めて収入の裏付けのある事業から、進めてください。

議長:本件は、報告事項とします。最終的には見直し結果を次回の理事会で審議して承認 することにします。

(3) 2023 年度強化指定選手選考基準と強化指定選手の選出について

石井:パラアルペンチームの強化指定選手選考基準について説明が行われた。

石井: ID アルペンチームの強化指定選手選考基準について説明が行われた。

渡辺:パラノルディックチームの強化指定選手選考基準について説明が行われた。 枠組みはアルペンチームと同様になります。

渡辺:IDノルディックチームの強化指定選手選考基準について説明が行われた。

大日方:パラスノーボードチームの強化指定選手選考基準について説明が行われた。

石井:説明を行った強化指定選手選考基準に則り、パラアルペンチームと ID アルペンチームの 2023 年度の強化指定選手の選出結果の説明が行われた。

渡辺:説明を行った強化指定選手選考基準に則り、パラノルディックチームと ID ノルディックチームの 2023 年度の強化指定選手の選出結果の説明が行われた。

大日方:説明を行った強化指定選手選考基準に則り、パラスノーボードチームの 2023 年度の強化指定選手の選出結果の説明が行われた。

議長: 2023 年度の強化指定選手選考基準と強化指定選手について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 事業の追加申請及び宿泊費の規程上限超えについて

大日方:パラスポーツ体験会と選手発掘事業が北海道で行われました。2022 年度の事業として予算化されていませんでした。2024 年 2 月のアルペンの札幌 W 杯の大会視察・札幌市訪問を含め実施済です。今回の北海道出張と宿泊費が連盟の規程を超えているため承認をお願いします。

議長:北海道出張と宿泊費の上限超えについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 2022 年度の連盟決算予想について

鈴木: 2022 年度の連盟決算の予想について説明が行われた。収入はほぼ予算の通りです。事業費の支出もほぼ予算の通りです。管理費については予算より支出が増えています。事務局員の時間外手当が事業数が増えたため増加しています。 見込みですが、収支均衡の決算が出来ると考えています。

(2) 2023 年度の強化チームの謝金テーブルについて

大日方: 2023 年度の強化 5 チームのスタッフの謝金額について説明が行われた。

(3) 採用プロセスについて

鈴木:前回の理事会で採用プロセスについて説明しましたが、第3者の承認を得るとなってましたが、古市副会長または古市副会長が指名した人を承認者とすることにしました。

(4) ダイバーシティ研修・ハラスメント研修の結果報告

鹿島:7月2日にダイバーシティ研修を行いました。105名の参加がありました。アンケート結果についてのフィードバックがありました。

鹿島:7月13日にハラスメント研修を行いました。86名の参加がありました。アンケートの結果、既にほとんどの方が色々な機会で研修を受けており、ハラスメントを理解しているとの結果でした。

それぞれ、今後も継続したいと考えています。

(5) 公式ユニホームの寄贈について

若林:連盟から貸与しているユニホーム等の寄贈について、マーケティング本部でガイドラインを作成しました。詳しい内容については配布した資料を確認してください。

椎名:寄贈先から受領証をもらうようにしたほうがいいと思います。

古市:個人に寄贈する場合も同様の手続きになりますか?

椎名:寄贈先は、基本は法人に絞りましょう。

大日方:雪上での着用は禁止にして、展示用に限定してください。

岡本:寄贈出来るウエアは、新たなウエアが貸与された時以降で大丈夫ですか?

椎名: それでいいと思います。

岡本:手続きのフローがあれば、選手達に案内します。

【その他】

- *事務局の夏季休業は JPC・JPSA に合わせて 8 月 14 日~16 日です。
- * 今後の会議日程について、9月4日常任理事会、10月8日理事会、10月22日定期総会を予定。常任理事会までに 2022 年度の事業報告の作成が必要になります。

議長:以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2023年7月23日

議事録署名人

議 長 椎 名 茂

議事録署名人 古市隆一

議事録署名人 鈴木 久三郎